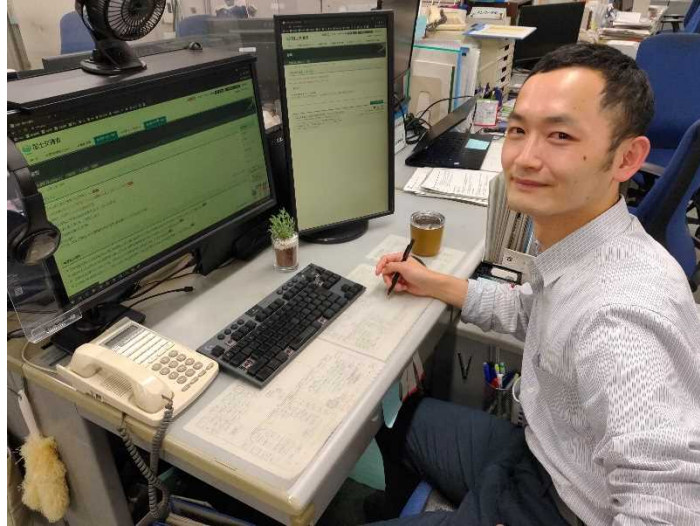




みなさん、こんにちは。

業務紹介第18弾として砂防分野の業務内容を、水管理・国土保全局砂防部保全課福井慧係長（入省6年目）より語ってもらいました！



執務室の様子

（水管理・国土保全局砂防部保全課 福井係長（入省6年目））

1. 砂防分野の業務の国交省における役割を教えてください。

砂防行政では、多発化・激甚化する土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害から、国民の生命・財産を守るため、①ソフト対策（警戒避難体制の整備や土地利用規制等）と、②ハード対策（砂防設備等の整備等）に取り組んでいます。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

【流域治水における土砂災害対策】

令和2年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」が閣議決定され、大規模な予算措置（全体でおおむね15兆円程度を目途）が予定されております。国土交通省としては流域治水等をすすめますが、そのうち砂防分野においては、地域の社会・活動を支える基礎的インフラを保全するための土砂災害対策の実施を加速化するため、砂防堰堤や遊砂地等のハード整備を一層進めます。

【砂防分野におけるDX】

国土交通省では、生産性向上等を目的としたインフラ分野のDXの推進に取り組んでいるところです。砂防分野におけるDXの取り組みとしては、5G通信を活用した無人化施工を導入するための現場実証を、雲仙普賢岳のフィールドにて進めております（そもそも砂防部では、平成3年の雲仙の火砕流災害を契機として無人化施工に先駆的に取り組んできた経緯がありますが、大容量・低遅延・同時多数接続可能な5G通信を新たに導入し、一層の生産性の向上を図るものです）。また、アクセス困難な山間部の砂防施設の点検を効率化すべく、UAVによる施設点検を進めており、最近ではインフラ点検分野では国内初となるレベル3飛行（無人地帯における目視外自律飛行）の実証実験を紀伊山地のフィールドで行いました。



3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

砂防部保全課の主な担務は、土砂災害対策のためのハード整備、そのための技術基準策定、また上述した DX 関係の新技术導入のための取組などです。私は、これらに関する予算要求や企画立案の総括を担当しております。

4. 苦勞する点や、やりがいについて教えてください。

総合職の仕事の魅力は制度設計をすることにあります。一方で、国家公務員は必然的に国民に対して説明責任を求められる立場にあります。つまり、様々な境界条件がある中で、最適と思われる選択肢を見出していき、なるべく早く制度を社会実装することが求められます。

上記を踏まえて現職における話をすると、政府動向・社会情勢といった大局的な話と、全国の砂防関係事務所等が地域・現場において直面している具体的問題の両方を踏まえながら、新規事業や制度拡充について財務省等に必要な説明を行い、最終的には地域の安全度向上に寄与することが求められておりますが、ここに苦勞と同時に大きなやりがいを感じます。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

私は大学では理学部で地質を学んだのですが、土木（や砂防）を専門的に勉強したわけではありません。そのため、基礎知識に不安がある中で入省したことになりますが、諸先輩方や民間の技術者の方々に教わりながら、実務を通して土木技術・土木行政の基礎知識を学ばせていただき、技術系の国土交通省職員の一員として、徐々に高度・広範囲な仕事を任せただけようになったように思います。つまり、国交省は間口が広く、また懐が深い組織だと考えております。様々なバックグラウンドを持つ皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。



雲仙普賢岳